

1. 授業の概要(ねらい)

教育は、社会のありようどのように結びついているのか。当科目では、下記の3つのテーマを設けてこの問いに取り組んでいく。

- ①教育が人々を選抜し、社会の中に位置付けていくという働き
- ②個人が社会のルールや期待を受け取るなどして、社会的存在へとかわっていくプロセス
- ③高等教育と社会の関わり

履修者には 授業や文献の内容をもとに、自らあれこれ思索するという作業に積極的に取り組むよう求める。当科目はそのような思索を通して、「自明」「当たり前」とみなされがちな教育や学校という制度・営みを、クリティカルにとらえる洞察力を養うことを目的とする。

ただし、当科目で提示する知識や考え方は、いずれも「すぐ役立つ」「実践的」等とは評し難いものである。履修するかどうかは、その点も踏まえて検討してほしい。

授業は講義を中心に構成するが、履修者数に応じて、適宜ディスカッションやグループワークを取り入れる。また、適宜小テストを実施する。

2. 授業の到達目標

「1.授業の概要(ねらい)」で挙げた3つの大きなテーマ(①～③)について、下記A・B・Cができる

- A. 的確な知識を示すこと
- B. 基礎的事項の概略を記述すること
- C. 自分の意見を理由や根拠とともに記述すること

3. 成績評価の方法および基準

各回の授業内課題 20%

中間試験 10%

期末試験 70%

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は指定しない。

参考文献

辻本雅史 『教育の社会史』 放送大学教育振興会、2008年

飯田浩之・岡本智周編著 『教育社会学』 ミネルヴァ書房、2018年

近藤博之・岩井八郎 『教育の社会学』 放送大学教育振興会、2015年

酒井朗・多賀太・中村高康編著 『よくわかる教育社会学』 ミネルヴァ書房、2012年

橋本鉦市・阿曾沼明裕編著 『よくわかる高等教育論』 ミネルヴァ書房、2021年

5. 準備学修の内容

授業の予習・復習のために配布文献を読みまとめる。授業外でLMSに設定した小テストを受ける。授業内で実施される小テストの準備学習を行う。以上のような授業外課題を課す。課題は授業内で指示するので欠席した場合の課題の確認は各自の責任で行うこと。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

【第1回】 イントロダクション:授業内容の概要と、受講上の諸注意

【第2回】 近代学校の成立

【第3回】 選抜・配分と学校教育(1)学歴主義の日本的構造

【第4回】 選抜・配分と学校教育(2)戦後日本と学歴主義

【第5回】 現代日本の教育意識:階層・格差・費用負担

【第6回】 社会化とアイデンティティ

【第7回】 家族と社会化

【第8回】 中間の振り返り

【第9回】 ジェンダー(1)ジェンダーとは

【第10回】 ジェンダー(2)学校文化とジェンダー

【第11回】 逸脱

【第12回】 非行とその処遇

(LMSによるオンデマンド形式)

【第13回】 日本の高等教育制度

【第14回】 大学教育のレリバンスと効用

【第15回】 全体の振り返りと試験